

編集後記

大リーグSHOHEIの103年振りの大記録(2桁勝利・2桁ホームラン)は果たして達成されるのでしょうか。今の時点(9月30日)では、9勝で足踏み状態ですが。是非達成してもらいたいものです。

誌上ギャラリーは、池田敏郎先生から、『あの日の秋桜』を頂きました。子供の頃を思い出す懐かしい風景です。

論説と話題は、第65回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和3年度九州学校検診協議会(年次大会)についての、3人の会員の先生方からのご報告です。コロナ禍で子供の生活習慣病対策や学校現場における影響もあり、学校検診に加え学校医の役割はますます重要になっているようです。会員の先生方の学校検診・学校医へのご理解ご協力をお願い致します。

医療トピックスは、医師会病院薬剤部中島 誠先生(共同執筆者;第一薬科大学高岡彩子先生)より、片頭痛の発症抑制薬について解説して頂きました。大変有用な情報、ありがとうございました。

学術は今村総合病院産科婦人科 貴島佳子先生から『ストレス社会に頑張る「不定愁訴」に漢方療法が有効であった2症例』を報告して頂きました。貴重な症例報告ありがとうございました。兵庫医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科任 智美講師より「味覚障害の診断と治療」を寄稿して頂きました。味覚・嗅覚障害がCOVID-19の症状として注目されるようになった今、まさに的を射た講演だと思われ、会員の先生方は是非ご覧頂きますようお願い致します。

医師会病院だよりは婦人科 大塚博文部長より婦人科の紹介です。会員の先生方には、少しでも婦人科疾患が疑われる際には、患者さんのご紹介をよろしくお願い致します。

随筆・その他は3題です。古庄弘典先生から、切手が語る医学「タンザニア著名人」です。栗先生からは「歌と写真で綴る薩摩の脇道」の続編をご報告頂きました。読み

応えのあるかなりの大作になっています。

リレー随筆は、鹿児島生協病院研修医 中山万莉先生からご寄稿頂きました。先生の未来の医師像や鹿児島を研修地に選んだ理由などを、ユーモアたっぷりに書いて頂きました。先生が外で酒が飲め、色々な人と仲良くなれる日を願っています。

各種部会だよりは、市内科医会例会一般講演を有村公良会長から、特別講演を中村教子幹事からご報告頂きました。一般講演では鹿児島市医師会病院脳神経内科の能勢裕久先生より「当院の発熱外来およびCOVID-19専用病棟への取り組み」という演題でご講演頂きました。特別講演として、兵庫医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科任 智美講師による「味覚障害の診断と治療」という演題でご講演頂きました(内容は学術に寄稿)。また、鹿児島市在宅医会総会及び講演会を事務局よりご報告頂きました。五反田満幸会長の「私の在宅医療～半生を振り返って～」は、オンラインで開催され、全国からご参加頂き、先生の在宅医療に対する熱い思いが伝わる講演でした。

各種報告は、理事会の概要、夜間急病センター委員会、第1回臨床検査センター協力運営委員会、学校保健小委員会、医報編集委員会からの報告がありました。

附属施設だよりは、鹿児島市医師会病院や検査センター収支実績、検査実績の報告です。今後とも、皆様のさらなるご紹介・ご利用をお願い申し上げます。

鹿市医郷壇の兼題は「薬(くすい)」です。ご寄稿いただいた先生方、ありがとうございました。初めての先生方もどうぞ振るってご寄稿下さい。

まさにウィズコロナ真っ只中、事実上我が国の新たな指導者となる自民党総裁が誕生しました。様々な困難に、根拠に基づいて強力な指導力を発揮してもらいたいものです。

(副編集委員長 佐藤 大輔)